

編集後記

- ◇今月号も依頼稿を中心に内容豊かな一冊が出来上がりました。武内・兼岡両先生には、それぞれプエブロ・ビエホ金鉱床と日本海の形成時期について、最新の研究成果を紹介して頂くことが出来ました。超多忙な中、ご寄稿下さった事に、厚くお礼申し上げます。
- ◇小島・砂川両先生の記事は、地質標本館閉館10周年記念の講演記録に加筆して頂いたもので、録音テープを文章に起こす労をとって下さった楠瀬さんに厚くお礼申し上げます。
- ◇標本館10周年記念行事が新聞や週刊誌に取り上げられた事は、本誌に書かれている通りですが、最近では本誌の記事が報道機関などに取り上げられる事もしばしばあります。2月号のダイヤモンドの話は、さすが興味を引いたのか、4月8日の日刊工業新聞が、「技報・学会誌から」の欄で、きわめて要領よく紹介しています。
- ◇6月1日で編集委員の一部が交代しましたが、この半年間、執筆依頼・原稿査読などで、それまでの編集委員会のメンバー以外の以下の方にお世話になりました。記して深謝致します（敬称略／アルファベット順）。奥田義久・服部 仁・J. W. Hedenquist・石原舜三・倉沢 一・小出 仁・宮崎光旗・佐藤壯郎・安田俊一
- ◇いろいろな雑誌を見てみると、どうも編集後記には2種類あるようです。ひとつは編集の趣旨や経緯を書いたオーソドックスな“正統派”，もうひとつは編集の苦勞を正直に書いた“本音派”とも言うべきものです。本誌の性格上、余り“本音”を吐く訳にはいかないのですが、それではストレスが溜ってくる事も事実です。依頼稿のほとんどは私からお願いしたもので、多くの方々が快く引き受けて下さったものの、この2年間の“借り”の大きさを考えると、ゾッとしてしまいます。これは本音のひとつ。

副委員長 佐藤興平 記

地質ニュース編集委員会

委員長：小川克郎
 副委員長：佐藤興平・磯部一洋
 幹事：宮崎光旗・尾上 亨
 委員：三田直樹・岡村行信・鹿野和彦・山口 靖・金沢康夫

事務局：総務部業務課広報係
 〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所
 地質ニュース編集委員会
 事務局 Tel. 0298-54-3520
 Fax. 0298-54-3533

地質ニュースに対するご意見は編集委員会へ

原稿募集中！

地質ニュースに寄稿される方へ

1. 地球科学各分野の最近の話題・総説・解説など多方面の原稿を募ります。
2. 原稿は図・表・写真を含め、原則として刷上がり15ページ以内とします。これをこえる場合は事務局に相談して下さい。地質ニュース原稿用紙（25×18字）4枚半が1ページに相当します。
3. ワードプロセッサ使用の場合も、A4判用紙に1行25字とし、行数は20-25行程度として下さい。
4. 句読点・引用符などもすべて1字として下さい。
5. 図・表・写真は本文とは別に1枚1ページとして、それぞれに番号をつけるとともに、希望する掲載サイズを余白に記入して下さい。これらにつける説明文は、本文とは別の原稿用紙に書いて下さい。とくに図と写真は、縮小率を考え鮮明なものを提出して下さい。
6. 原稿の右欄外に図・表・写真の希望する挿入位置を鉛筆で記入して下さい。
7. 表紙やグラビアに用いるカラー写真は、プリント版の他に原版のポジ（スライド）を提出して下さい。プリント版のみの場合は、カビネへ六切サイズ（表紙は六切）のものに限ります。
8. 原稿は事務局に提出して下さい。編集委員会から受付カードを発行します。掲載は原則として受付順としますが、速報性の高いものは優先的に印刷したいと思います。

<地質ニュース編集委員会>

購読者募集中 申し込みは編集委員会へハガキで

地質ニュース

第442号 1991年6月号
定価 ￥700 千実費

1991年6月1日 発行

編集
発行人
発行所

工業技術院地質調査所
 林 久 雄
 株式会社実業公報社
 東京都千代田区九段南4の2の12
 〒102
 Tel. (03)3265-0951 (代表)
 振替口座 東京1-32466
 麹町局私書箱第21号
 印刷 奥村印刷株式会社

©1991 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の震が関政府刊行物サービスセンター、八重洲ブックセンター(株)本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。品切れの際は店頭で注文してください。